



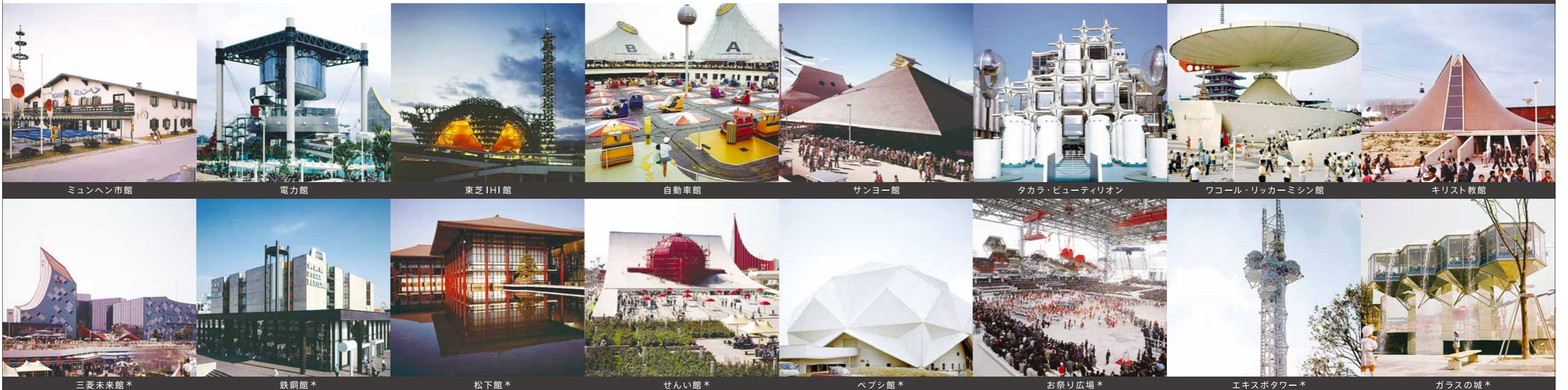
記憶に残る、 未来を創る。

1970年、未来の建築に向け、設計や工法の可能性を追求する場であった、大阪万博 (EXPO'70)。竹中工務店は、建築技術の革新と合理的な施工計画により、夢の建築と謳われた28のパビリオンと関連施設を完成させました。

そして2025年の大阪万博に向け、大阪・関西が国際ゾーンとしてさらなる進化を遂げる中で、竹中工務店は、大空間やスタジアム建設、インフラ整備などにより蓄積してきた技術やノウハウ、省エネや木質木造などの環境配慮技術にますます磨きをかけます。

さらに、AIやIoT、BIMなどを利用した創造的な生産システムを構築し、博覧会テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」の具現化に貢献できるよう、建築の可能性に挑戦していきます。

大阪から、感動をふたたび。



*はJV工事 写真提供：大阪府

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA